

# ひの市民活動団体連絡会ニュース13号

平成 21 (2009) 年 2 月 15 日  
 発行：ひの市民活動団体連絡会  
 会長：梁瀬 悦司  
 編集：広報部会  
 〒 191-0012 東京都日野市日野 1369 - 27  
 Tel / FAX. 0 4 2 - 5 8 1 - 6 1 4 4  
 E-mail: hino-cagcm@tokyo.email.ne.jp  
 URL: /hinokaturen.sakura.ne.jp/

ひの市民活動団体連絡会ニュース13号を気候変動の移り気な季節にお届けします。

☆ ○ △ □ ◎ ☆

## 第2回ひの市民活動団体連絡会年末のまつり

2008年12月7日(日)第2回ひの市民活動支援センターまつりを開催しました。

当日は、日野市長、副市長はじめ衆議院議員長島氏、ほか多数の市議員に参加いただき、ご挨拶までいただきました。お祝い、励ましのお言葉ありがとうございました。

駐車場には、フリーマーケットと模擬店コーナーです。フリーマーケットは、衣類、手作り品、おもちゃ、アクセサリ、野良猫を保護している団体など、沢山の出店があり、賑わいました。少しは「普段着でCO<sub>2</sub>削減」に貢献できたでしょうか？模擬店は、日野の地場野菜(白菜、里いも、かぶ、大根、生ピーナツなど)と豚汁・フランクフルトがありました。おいしいと大人気でした。

2階の会議室はおてだまづくり、昔あそび、折り紙など子どもたちが自由に遊べるコーナーとしました。

横庭では、連絡会恒例の餅つきです。今回は、外で餅つきが出来たので、連絡会のメンバーだけでなく、外国人の親子や近所の方など、子どももおとなも力を合わせて餅をつくことが出来ました。味付けは、手作りあんこ、からみ、おかかのりの3種類、どれもほっぺが落ちそうになるほど美味でした。1階の奥の会議室を、休憩&食事室にしました。お餅を食べながら親睦を図ることが出来ました。

これからもこのおまつりが恒例行事になり、会員同士、支援センターの近隣の方々との交流の場となることと、ひの市民活動団体連絡会の活動を広く地域に知っていただく機会になるようにしたいと思います。

(事務局・山崎)



(写真上) フリーマーケットの様子。

(写真右) お餅つきの様子。



### フリーマーケットに参加

12月2日の支援センターまつりにたまりばあとして初めてフリーマーケットに参加しました。思っていたより参加者が少なかったようでした。

これまで福祉まつりのフリーマーケットに参加し、それなりに反応があったので、期待していたのですが、当てがはずれました。今回、沖縄県宮古島の野菜、うりずん、パパイア、ローゼル(ハーブ)をメインにしたのですが、宮古島の宣伝だけに終わったようです。でも意外とジュースが売れたのは予想外で、何とか赤字にならずに済んだのは幸いでした。

たまりばあは2007年12月にゼロから始めた団体なので資金作りに苦労してきました。今回もメンバーには全くのボランティア(無償)でした。アルミ缶回収をメインに取り組んでいますが、株の下落により1k10円(春には100円だったもの)にしかならず、頭が痛い状況です。

これから支援センターの行事にも参加していきたいと思っています。たまりばあは、NPOの申請を行っているところです。

(たまりばあ代表：鈴木陽一)

### HPに「新着情報」募集中

新しくなったホームページを見えていますか？ ひの市民活動団体連絡会のホームページがリニューアル・オープンし、連絡会や加盟団体からのお知らせをホームページ「新着情報」に載せることができるようになったことは前号でお知らせしました。

掲載希望の場合はHPのアドレスではなく、メールアドレス：[hinokaturen@yahoo.co.jp](mailto:hinokaturen@yahoo.co.jp) まで原稿・写真・募集案内ビラなどを送ってください。即日アップします。

## 講演会 市民活動における参加者の集め方 ～稲城市を例として～報告

平成20年度のひの市民活動団体連絡会主催の講演会は、平成21年2月8日（日）午後1時半から、日野市生活保健センター講座室で、「市民活動における参加者の集め方（稲城市を例として）」と題して行なわれた。13名の市民（連絡会加入団体メンバー10名と一般市民3名）と行政から5名、稲城市から講演者も含め3名、計21名が参加した。



講師は稲城市内55団体が加入しているNPO法人市民活動サポートセンターいなぎ理事の秋草幸雄さん（金曜サロン担当）で、同理事の坂井さんと稲城市役所企画部協働推進課課長補佐の小川さんも同席し、後半のQ&Aに席を変えた質疑応答にも加わった。

NPO法人市民活動サポートセンターいなぎは、平成17年4月に市役所に隣接した「地域振興プラザ」の完成と共に発足し、稲城市役所企画部協働推進課の一部に同センターのデスクがあり、17名の理事（NPO団体からと一般公募市民で構成）、2名の監事からなり、市民活動団体の中間支援組織としての交流イベント企画や地域の発見・顕彰、ハッピーリタイアメント講座開催、講師派遣、市内の財団の助成金授与審査などのNPO活動支援活動をしていると紹介の後、毎週行なわれている「金曜サロン」拡大版で毎月30名も集まる「金曜サロンスペシャル」（内容はホームページに掲載）について説明があった。

## 金曜サロン⑪は「走る楽しみ」で歓談

平成20年11月28日（金）の金曜サロンは日野走友会会長大野泰介さんを講師に「走る楽しみ」のテーマで開催しました。

最初に会の歴史、現在の活動、自分の経験などをお話いただきました。日野走友会は1976年に設立。現在、会員57名。ウォーキングからレース志向の人まで会員それぞれが楽しく、無理することなく、生涯スポーツを目標に活動しているということです。

走る事を続けてきて「健康のために走る」から「走るために体調を維持する」に変化してきたというお話や活動を通して人とのつながりができること、日野の

第3金曜日は加入している市民活動団体の紹介で、第2と第4金曜日が飲みにケーションOKの自由テーマの「金曜サロン」、第1金曜が福祉・まちづくり・海外・食などのテーマで貴重な経験を持つ市内在住の市民を講師に招き（現在は講師を市民に限定せず無償で）、38回も開催されている「金曜サロンスペシャル」について、「継続は力なり」の心意気で参加者集めに苦勞されていると実態（理事など常連10名、広報などで来る市民20名）を話された。

1000枚のチラシ配布よりポスター掲示のほうが効果があるとのことだった。背景には毎週開かれる「金曜サロン」などの人脈がベースにあり、企画もここで相談し、練られ、実行委員会、企画会議、理事会にかけられているとのことだった。

広報担当が持ち回りで講演内容をまとめ、ホームページに掲載して検索できるようにしていることや、「ニュースレター」を2,000部発行し83,000人の市民に伝えていることも人集めの仕組みかも知れない。

自分の属しているNPO活動だけに視野が狭まらないように、人との繋がりを持ちながらいろいろな意見を吸収していくことに「金曜サロン」や「金曜サロンスペシャル」が役立っていると感じた。

会長・事業部会 梁瀬 悦司



町を知ったり、見直したり出来ること、などのお話しが印象的でした。

後半の懇親会は、日野走友会の会員方々からも走り始めたきっかけや今までの成果、今感じている事などを交えた自己紹介、参加者からの質問などがあり、話が弾みました。（広報部会・本田）

× × × × × ×

金曜サロンは1月30日の12回「人形劇の世界」のあと、2月、3月は会場を平山季重ふれあい館に移して懇親会を開き、金曜サロンのあり方を検討します。4月から新機軸で再開する予定。

（事業部会より）

## 第5回「日野・多摩・稲城市民活動支援組織交流会」

### ★平成20年11月29日(日)、ひの市民活動支援センター

多摩市から多摩NPO協会理事長の橋本正晴さん他4名、NPO法人市民活動サポートセンターいなぎ副代表理事の石田惇子さん他2名と稲城市役所企画部協働推進課課長補佐の小川さんをお招きし、ひの市民活動団体連絡会から8名、日野市企画部地域協働課から原島さん他2名の計20名で第5回「日野・多摩・稲城市民活動支援組織交流会」を行った。



最初に、各中間支援組織から現状の活動報告が会のチラシ、ニュースレター等の資料と共に行なわれた。

ひの市民活動団体連絡会からは『ひの市民活動団体連絡会ニュース12号』と『イベントニュースNo.3』が配られ、ホームページが整備されたこと、アートフェスティバルなどの模擬店参加、NPOとの情報交換会、「コミュニティカフェ・川の駅構想」などが報告された。

多摩市からは、中間支援組織と行政・議会との関係、稲城市からは「金曜サロン」の充実（毎週開催）など課題・実績も報告された。日野市企画部地域協働課から、各事業と予算、協働の相手（市のセクションとNPO）などが詳細に報告されている冊子『市民活動団体（NPO）と日野市との協働事業概要（平成20年度版）』も紹介された。

各市のNPOのヨコの繋がりが持てないか、日野市で進められている「コミュニティカフェ・川の駅構想」の他市との連携、イベントの共同開催などの情報交換・ネットワークづくりの提案があった。

交流会に引き続き、懇親会が開かれ、本音で問題を語り合った。KY（空気が読めない）に対して、GY（現場が読めない）と指摘したり、指定管理者制度の問題、NPOが下請け化していると議論が続いた。

第1回が平成18年11月25日で多摩市、第2回が平成19年5月27日で日野市、第3回が平成19年11月10日で稲城市、第4回が平成20年8月10日で多摩市、次回第6回は稲城市で平成21年前半に予定されている。（梁瀬悦司）

### セミナー・学習会参加報告

#### ふるさと納税制度を活かした市民活動支援

「新しい公共を支える、新しい市民活動・ファンドづくり～活動自立化へ向けたチャレンが各地で活発化～」  
11月29日(土) ベルブ永山公民館  
主催:NPO 法人多摩サロン

ふるさと納税制度という言葉を知っている人は多いと思います。自分の希望する自治体に寄附をすれば一定の限度内で寄附金とほぼ同額の税金が控除されるという制度です。

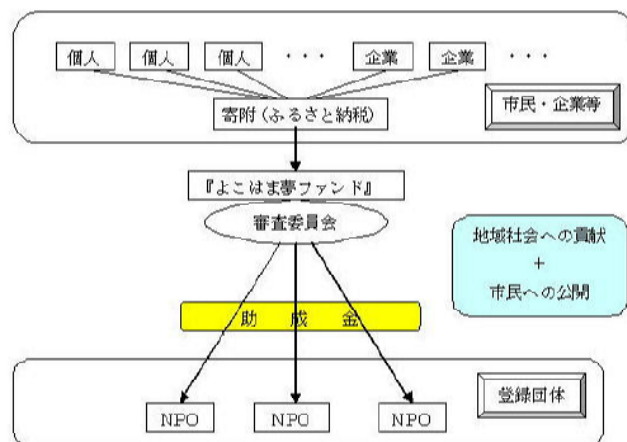
横浜市には、この制度を活用して、市民や企業からの寄附金で市民活動推進基金「よこはま夢ファンド」を作り市民活動団体を支援しています。このファンドの特徴は、

- 特徴1 ふるさと納税制度を使って市民などが横浜市に寄附をする。その際、寄附者はその寄附金で支援したいNPOの活動分野や団体名を希望することができる。
- 特徴2 寄附金による助成先は、寄附者の意向を尊重して審査委員会で決定される。
- 特徴3 所得税と住民税の減額により寄附金額が寄附者に還元される。

19年度のよこはま夢ファンドの登録団体は104団体、実際に助成金の交付を受けた団体は28団体、助成総額は約1,570万円だったそうです。

市民や企業が市民活動に自ら活動に参加できなくても資金面で支援できる仕組みとして日野市でもこのような仕組みが作れないものか、これから検討してゆきたいと思います。

#### よこはま夢ファンドの仕組み



#### 税制上の優遇モデルケース例

年収700万円 夫婦子ども2人の納税者（所得税率10%、住民税率10%）が35,000円の寄附をした場合、30,000円の税金が減額されます。

（広報部会・湯口）

地域協働課から

# 市民活動団体(NPO)と市との協働 平成20年度を振り返って

今年度を振り返ってみますと、地域協働課では、様々な事業を実施してきました。

そのうち、市民活動支援の主な取り組みとして、

- ・市民活動（NPO）活動支援補助金事業
- ・市民活動団体（NPO）と市と双方向からの情報交換会
- ・ひの市民活動団体連絡会の団体紹介パネル展示
- ・ひの市民活動団体連絡会との企業訪問を行いました。

また今年度の新たな取り組みとして、8月に「市民活動団体（NPO）と市との協働事業概要」を発行しました。

これは、市民活動団体（NPO）と市との平成19年度協働実績及び平成20年度協働事業の実施予定について、把握・整理をしたものです。協働の事業名やその概要、市民活動団体名、市の担当部署名のほかにも、協働の成果、協働を実施していく上での問題・課題などを掲載しています。

今後の新しい協働事業展開の参考になればと思い、ひの市民活動団体連絡会の会員団体にもお配りしています。

少子高齢化や環境問題等の課題及び多様化する市民ニーズに応えるため、市民活動団体との協働は、より一層必要となってきています。これからも協働の推進に努めていきますので、どうぞご協力をお願いいたします。

\* \* \* \* \*

## ◆◆事務局だより◆◆

### 1. 新規加入団体

日野・発達障害を考える会（親の会）スッキパー（代表 宮崎 雅子）が新しく入会しました。

＝現在 3 2 団体

### 2. 支援センター利用日誌の記入について

ごくわずかではありますが、利用日誌の記入もれがあります。

利用時刻・人数等の記入もれのないようにお願いします。

### 3. 世話人会、各部会日程

【世話人会】 2 / 0 5, 次回 3 / 0 5

【運営部会】 1 / 2 7, 次回 2 / 2 4

【事業部会】 1 / 2 0, 次回 2 / 1 6

【広報部会】 1 / 0 9, 次回 2 / 2 6

## インフォメーション 市民活動団体の活動紹介

は別紙「イベントニュース」に掲載します。(^^)v

原稿送り先・お問い合わせ先: 広報部担当 本田真弓

e-mailの場合 hino-cagcm@tokyo.email.ne.jp

fax の場合 042-581-6144 (ひの市民活動支援センター)

## ○▼□参加団体活動紹介○▼□

### ◎NPO法人共働事業所あいあむ

\*\*\* 販売支援のご協力を求めています \*\*\*

私どもは、ハンディ・キャップを持つ人も持たない人も、地域の中で”共に楽しく暮らせるまちづくり”をめざし、地域の福祉とリサイクル推進に寄与することを目的としています。

現在の活動は福祉施設の製品、NGOの製品、高齢者のデイケアの製品、国際交流製品、リサイクル品などの販売を行っています。

販売の場として、スプリングフェスタ、新撰組まつり、福祉まつり、アートフェスティバル、産業まつり等のイベントや各地で開催されているフリーマーケットなどに店出しています。

また、委託販売として8箇所のご協力、ご支援を頂いています。今後はさらに委託販売先を増やし、支援先に微力ですが、継続して支援を続けるサポーターであり続けていきたいと願っています。

一緒に活動してくださる方お待ちしております。

(HP - NPO あいあむで検索してください。)

## 編集後記

毎日、支援センターの近くのモノレールの駅をつかい、仕事に行っています。車窓からは多摩川の水鳥、丹沢、富士山、奥多摩の山並が一望に見渡せ、日野に住んでいる幸せを感じる毎日です。新たに広報部会に入りました。12月に開かれたフリマーケットで買ったショールが首元を温めてくれています。そろそろ活動の時期ですね、今年も皆様のご活躍を期待しています！（広報部会・田中）